

牛久：学校周辺に見る自然

第10号 牛久二小

2020年4月25日発行

＜ 春の校庭 ～⑤雑草と虫・シソの仲間＞

皆さん、こんにちは。牛久二小の春の校庭「雑草とそこに来る虫たち」、今回はシソの仲間です。



上部の赤みを帯びた葉の間から、かわいい花をのぞかせるヒメオドリコソウ。花の形も特徴ありますが、第4号でもお話したように茎が四角いのでシソ科のなかまと分かります。小さな花には、小さなキマダラハナバチやハナアブ類、ハエのなかまが来て蜜や花粉を食べます。ときには、モンキチョウなどが来て蜜を吸っていることもあります。アブラムシがどこかにいたのでしょうか？ ナナホシテントウもいました。



ヒメオドリコソウ(上)とその蜜を吸うキマダラハナバチ(下左)、花粉をなめるハエ(下中)。ナナホシテントウ(下右)。



ホトケノザも、シソ科のなかま。花の形も同じで、茎の断面はやはり四角。触るとよく分かります。向かい合った葉のもとに花が並ぶようすから「仏の座」と名がついたようで、ときには白花のものが見つかることもあります。見つけたら教えて下さいね。春の七草で「ホトケノザ」としてスーパーなどで売られているのはこれではなく、キク科のコオニタビラコ。【理科支援員：宮内】
向い合う葉のもとに花が並ぶホトケノザ。